

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ユビキタス
 コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(氏名) 三原 寛司
 (氏名) 榎木 玲子

TEL 03-5908-3451

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	646	△1.8	△34	—	△26	—	△77	—
24年3月期第3四半期	658	△37.8	67	△87.7	69	△87.5	22	△93.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△908.77	—
24年3月期第3四半期	260.48	253.09

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,290	2,176	94.1
24年3月期	2,319	2,142	91.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,155百万円 24年3月期 2,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	△1.7	△55	—	△46	—	△97	—	△1,138.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	87,239 株	24年3月期	87,239 株
25年3月期3Q	— 株	24年3月期	2,020 株
25年3月期3Q	85,248 株	24年3月期3Q	85,803 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における売上高合計は646,327千円となり、平成24年11月9日発表の通期業績予想に対し71.8%の達成率となりました。形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高488,867千円、サポート売上高41,227千円、ソフトウェア受託開発売上高104,888千円、及びその他の売上高11,343千円となりました。

分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりです。

分野別	当四半期累計期間		前年同四半期累計期間		増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
ゲーム分野	188,966	29.2	230,589	35.1	△18.1
ネットワーク分野	209,098	32.4	268,561	40.8	△22.1
データベース関連	80,059	12.4	114,046	17.3	△29.8
高速起動関連	156,859	24.3	45,001	6.8	248.6
サービスプラットフォーム関連	11,343	1.8	—	—	—
合計	646,327	100.0	658,198	100.0	△1.8

ネットワーク関連のうちゲーム分野は、全体として減少傾向にあるものの、前四半期から引き続き携帯型ゲーム機向けの大型タイトル販売に伴うロイヤルティ収益が寄与し、予想に対し堅調に推移しました。

ゲーム以外のネットワーク分野は、国内テレビ関連商品の販売が年末商戦も低調に推移した影響により、デジタルテレビ及びレコーダーに関するロイヤルティや新規受託開発案件の不調などの状況は見られますが、継続して採用されているデジタル家電関係では、新規受託開発案件や継続ロイヤルティを獲得して売上を計上しております。

一方、無線やホームネットワーク分野の商談は引き続き活発化の傾向にあります。従来取り組んでおりました、デジタルカメラの無線対応に関わるロイヤルティ収益が堅調に推移しました。

当社は、ホームネットワーク対応の家電機器に組み込まれるECHONET Liteに着目し、自社が得意とする「小さく」「軽く」「速い」ネットワークソリューションの実績と技術を生かし、対応機器の開発期間を大幅に短縮できる「ECHONET Lite SPECIFICATION Version 1.01」に準拠したミドルウェアを極小サイズで開発し、当第3四半期よりGainSpan社の無線LANチップ「GS1011」搭載モジュール及びMarvell®スマートエナジープラットフォーム向けに提供を開始しました。注目の高まるHEMS（ホームエネルギー管理システム）分野向けに今後売り上げに寄与すると期待しております。

さらに、デジタルカメラとスマートフォンをワンボタンで簡単にWi-Fi接続することを可能にする、無線LANソリューション「Ubiquitous WPS」がパナソニックのデジタルカメラ「LUMIX DMC-SZ5」に採用されロイヤルティを獲得しております。これらの技術について、平成24年11月14日～16日に開催されたEmbedded Technology 2012の当社ブースにてデモンストレーション展示を行いました。

データベース関連では、引き続きデジタルカメラやモバイル機器からのロイヤルティ収益を獲得しておりますが、特にコンパクトデジタルカメラの分野ではスマートフォンによる市場浸食などの影響を受け、ロイヤルティ収益に減速傾向が見られます。また、新規案件の獲得は予定より低調に推移しました。

このような状況の中、株式会社日立ソリューションズ（以下、日立ソリューションズ）とデータベース分野で協業し、日立ソリューションズが展開する組込みデータベース製品に当社のデータベース技術を提供することを平成24年11月13日に発表しました。

今回の技術供与は、超高速・極小組込みデータベースDeviceSQLで培ってきたインメモリ、ストリームデータ管理などを含む超高速・極小データベース技術を日立ソリューションズへ供与するもので、両社はカーナビゲーションシステムなどの車載情報端末、デジタルAV機器、セットトップボックス、産業機器などの分野に加え、スマートエネルギー、M2M、IoT(Internet of Things)といったローエンド、センサーエンドにおいて協力し、当社が技術供与する超高速・極小データベース技術と日立ソリューションズが持つソリューション提供力を組み合わせることで、他社との差別化を図り市場シェアの拡大を狙います。

高速起動関連では、当第3四半期中に大規模案件での車載機器関連量産製品への搭載が実現し、まとまった数量のロイヤルティー一括販売による収益を獲得しました。引き続き、カーナビゲーションシステムなど車載向けの端末において複数社との間で大・中規模案件の研究開発・商品化に向けた実装を継続しております。

サービスプラットフォーム関連では、「電力見える化ソリューション」の一環として開発を進めていた、無線LAN内蔵電源タップ「Navi-Ene Tap」の出荷を平成24年9月より開始し、販売パートナーであるサンワサプライ株式会社より販売が開始されました。またクラウドサービス「Navi-Ene」も9月27日よりサービスを開始しました。今後はB to Bビジネスへの展開も含めて関連事業を本格化してまいります。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として422,719千円（前年同四半期比9.2%増）及び、経費として495,624千円（同18.4%増）を計上しました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は90,035千円（同7.8%増）です。また、平成25年3月期の業績推移及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産40,685千円を取崩し、法人税等調整額に計上しました。

以上の結果、営業損失34,462千円（前年同四半期営業利益67,629千円）、経常損失26,336千円（同 経常利益69,125千円）、四半期純損失77,471千円（同 四半期純利益22,350千円）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より29,460千円減少して2,290,128千円となりました。流動資産は、現金及び預金、未収還付法人税等や繰延税金資産の減少等により前事業年度末より51,791千円減少して1,549,131千円となりました。また、固定資産は、差入保証金の返戻による減少があったものの、ソフトウェアやソフトウェア仮勘定の増加、投資有価証券の増加があり、22,330千円増加して740,997千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より63,245千円減少して113,733千円となりました。流動負債は、未払金の減少等により前事業年度末より71,392千円減少して80,971千円となり、固定負債は32,761千円となりました。

純資産は、資本金及び資本準備金は前事業年度末より変化はありません。平成24年12月28日、第三者割当により株式会社村田製作所へ自己株式2,020株を103,424千円にて処分し、処分差損35,045千円を利益剰余金より減額しました。利益剰余金は、四半期純損失77,471千円の計上及び自己株式処分差損により前事業年度末より112,516千円減少して1,051,841千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より33,785千円増加して2,176,395千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の91.8%から94.1%となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

現時点において平成24年11月9日発表の通期業績予想を見直すべき重要な要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,056	855,371
売掛金	198,102	252,937
有価証券	200,000	400,000
商品及び製品	—	7,066
仕掛品	2,530	10,308
前払費用	11,523	21,314
繰延税金資産	40,305	—
未収還付法人税等	144,213	—
その他	32,192	2,132
流動資産合計	1,600,923	1,549,131
固定資産		
有形固定資産		
建物	72,357	72,357
減価償却累計額	△753	△7,537
建物（純額）	71,603	64,820
工具、器具及び備品	31,862	33,247
減価償却累計額	△21,039	△24,526
工具、器具及び備品（純額）	10,822	8,721
有形固定資産合計	82,426	73,542
無形固定資産		
ソフトウェア	220,665	229,795
ソフトウェア仮勘定	24,821	63,158
商標権	2,038	1,770
無形固定資産合計	247,525	294,723
投資その他の資産		
投資有価証券	5,700	25,700
長期預金	300,000	300,000
差入保証金	82,634	47,031
繰延税金資産	380	—
投資その他の資産合計	388,714	372,731
固定資産合計	718,666	740,997
資産合計	2,319,589	2,290,128

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,282	17,419
未払金	112,792	22,973
未払費用	9,171	13,723
未払法人税等	2,081	5,512
未払消費税等	—	5,190
前受金	10,065	13,741
未払配当金	686	—
預り金	4,283	2,410
流動負債合計	152,363	80,971
固定負債		
資産除去債務	24,615	24,743
その他	—	8,018
固定負債合計	24,615	32,761
負債合計	176,979	113,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,939	566,939
資本剰余金	536,939	536,939
利益剰余金	1,164,358	1,051,841
自己株式	△138,469	—
株主資本合計	2,129,767	2,155,720
新株予約権	12,843	20,675
純資産合計	2,142,610	2,176,395
負債純資産合計	2,319,589	2,290,128

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	439,997	488,867
サポート売上高	40,448	41,227
ソフトウェア受託開発売上高	177,752	104,888
その他の売上高	—	11,343
売上高合計	658,198	646,327
売上原価	164,125	218,808
売上総利益	494,072	427,519
販売費及び一般管理費		
役員報酬	51,825	54,150
給料及び手当	142,373	149,645
法定福利費	13,638	17,146
広告宣伝費	22,758	18,677
減価償却費	10,912	5,688
不動産賃借料	13,731	20,543
支払手数料	55,026	59,424
消耗品費	3,266	2,627
研究開発費	83,529	90,035
その他	29,381	44,042
販売費及び一般管理費合計	426,442	461,982
営業利益又は営業損失(△)	67,629	△34,462
営業外収益		
受取利息	512	468
有価証券利息	1	874
還付加算金	—	4,297
雑収入	1,786	2,548
営業外収益合計	2,301	8,187
営業外費用		
為替差損	89	61
支払手数料	715	—
営業外費用合計	805	61
経常利益又は経常損失(△)	69,125	△26,336
特別利益		
投資有価証券売却益	5,738	—
特別利益合計	5,738	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	74,864	△26,336
法人税、住民税及び事業税	2,954	2,430
法人税等調整額	49,559	48,703
法人税等合計	52,513	51,134
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,350	△77,471

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。